

Z is love



人がスポーツカーにときめきを感じるのは何故だろう。それは多分、だれの心にも美しく走ることへの憧れがあるからではないだろうか。少年の頃“S30”に出会って以来、私にとってのスポーツカーはフェアレディZであった。バイクやカートのレースに出たこともあって、クルマには少しうるさい方だが、ニュー・フェアレディZには、思わず心を奪われた。これまでのZの面影を残しながら、どこをとってもまったく新しい。Zファンを自認する私はすぐにニューZを自らのものにした。いままで街の中を乗り回してはいたが、忙しいせいで遠出は今日がはじめて。妻と一緒に別荘へ向かいながら、ニューZの走りをいろいろ試してみるつもりだ。道すがら、新しいZについて少しお話ししようか。

FAIRLADY Z



California
4GIN523

美しくなければ スポーツカーとは呼べない。

スポーツカーを所有することは、最高の贅沢を手に入れている事に等しい。走ることを心から楽しむために、すべてが形づくられ磨かれてきたクルマだからこそ、乗るたびに限りない喜びを与えてくれるのだと思う。ニュー・フェアレディZは、脈々と流れてきたスポーツカーの真髄を受け継ぎながら、21世紀の新しいスポーツカーとして、その姿を現わした。ショートオーバーハング&ロングホイールベースを基本に、タイヤをできる限り四隅に張り出して配置した“ニンブルフォルム”と呼ばれるニューZのフォルムは、無駄なボリュームを排除しているので、まさに引き締まった肉体を連想させる。ハッチバックやリヤのピラー形状に、歴代Zのイメージを残しながら、スタイルそのものはまったく新しい。彫刻的なラインが印象的なヘッドランプまわり、新感覚の縦型ドアハンドル、強い主張が感じられるリヤランプなど、スタイリングだけでなくパーツひとつひとつも緻密にデザインされている。これこそが、スポーツカーの美の極致と言ってもいいだろう。キーのリモコンスイッチを押して、ドアを開けるとガラスが自然に少し下がる。これは、パーシャルダウンウィンドウ機構と呼ばれ、ガラスとウェザーストリップとのシール性を高めるもの。高速での風音を抑えると同時にサイドをより美しく見せる工夫でもあるようだ。



リモートコントロール
エントリーシステム
(リモコンキー2本)

Scene 02

Inspired Z Its stunning beauty is a revelation, inspiring you to head out in search of exhilaration, freedom and romance.

Irresistible Z You can't resist the temptation to slip into the cockpit and customize the Z's grip on performance to fit you perfectly.



ステアリングを握ると 不思議なほど気持ちがピュアになる。

スポーツカーの室内は狭くストイックな空間と相場は決まっているようだが、新しいフェアレディZには、窮屈さを感じさせない広さと、どのクルマにも似ていない個性に満ちた独自のキャビンが用意された。ドアを開けると、ブラックを基調とした、いかにも質が高いと感じさせるインテリアが待っている。前後を絞った車内はまるでスピードボートの内部のようだ。シートは、バックサイドを張り出してコーナリング時の安定感を高めるドライバー用と、身体を広範囲に包み込み快適性を向上するアシスト用が別々の形状となっている。このシートはまたスライド量がかなり大きく、小柄な人から大柄な人まで自在なシート位置が得られるので、妻が運転する時にも自分なりのドライビングポジションがとれると、彼女にも好評だ。メーターフィニッシャーに本アルミを採用したコンビネーションメーターは、Zらしいこだわりでダッシュボードから独立しており、ステアリングのチルト機構と連動して上下できるので、どのドライビングポジションでも視認性がすごくいい。マグネシウムダイキャストを芯材にして軽量化をはかり、スポーク部にアルミ材を用いた本革巻ステアリングは手にしっかり馴染み実にいい感触だ。スポーツカーらしいコックピットに座ると、純粋に運転を楽しもうという気分が高まってくる。



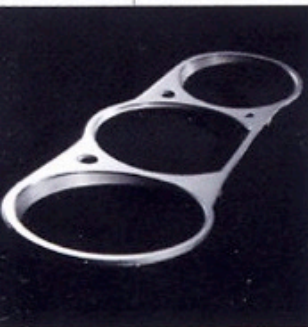
運転席/バックシート
(本革/バートオレンジ)



チルトステアリング&
チルトメーター



オゾンセーフ
フルオートエアコン





DVDナビゲーションの
主な機能



かんたんメニュー画面



ルートシミュレーション
画面



レーンガイド画面



マップコード検索画面

*1「カーウイングス」
をご利用になるにはサ
ービスの契約が必要で
す。また、別途携帯電話
の料金がかかります。日
産情報サービス「カーウ
イングス」にはたくさん
の情報サービスが用意
されています。詳しい内
容につきましては、「日産
情報サービス カーウイ
ングス ユーザーズガイ
ド」もしくはホームページ
<http://www.nissan-carwings.com/>をご覧ください。携帯電話は一部利用できない機種があります。また、一部サービスは有料となります。

*2 ETC（ノンストップ
自動料金支払いシステ
ム）をご利用いただく
ためには、別途、料金決
定用「ETCカード」の申し
込みと、セットアップ手
続きが必要です。ETCは財
団法人 道路システム高
速化推進機構の登録商
標です。



ETCユニット(*2)
（ビルトインタイプ）



3連装MDオートチェンジャー
（ディーラーオプション）



CD・AM/FM
電子チューナーラジオ



BOSEサウンドシステム

走っている一瞬一瞬が スポーツカーに乗る喜びを深める。

新しいZといままでのZの大きな違いのひとつは、おそらくナビゲーションシステムであろう。急速にIT化が進み、もはやナビを搭載することは常識となっているが、ニュー・フェアレディZもその例にもれず、最新のナビゲーションシステムが採用されている。情報量が豊富で、検索スピードも速いDVD方式のTV/ナビゲーションシステムを、7インチワイド液晶モニターで表示。かんたんメニューやルートシミュレーションなど機能の充実がはかられ、ナビ初心者でも楽に扱える。このナビゲーションシステムには、日産情報サービス「カーウイングス」(*1)がセットされ、携帯電話とつなげば自車の位置を知らせたり、レストランのガイドをしてくれる。さらに、受信したメールを読み上げてくれるなどのサービスも得られるので、使い方によってはかなり便利だ。また、走っている時間そのものを楽しめるよう、ニュー・フェアレディZはオーディオに凝っているのも特徴で、特にZ専用に設計されたBOSEサウンドシステムの音のよさには驚いた。重低音を奏でる運転席後ろの25cm薄型ウーハーと4スピーカー&2ツイーターが迫力のサウンドを再生。AUDIOPILOT™という画期的な機能が、室内のノイズに応じて音量や音楽信号を瞬時に最適な状態に補正してくれるので、大好きなジャズのCDを掛けながら、気持ちのいいツーリングができそう。



ステアリングスイッチ
（オーディオ・ボイスコ
マンド・ハンドフリー
フォン操作機能付）



CARWINGS

カーウイングス用
スイッチ(*1)



BOSE

7スピーカー（ウーハー、
4スピーカー、2ツイーター）



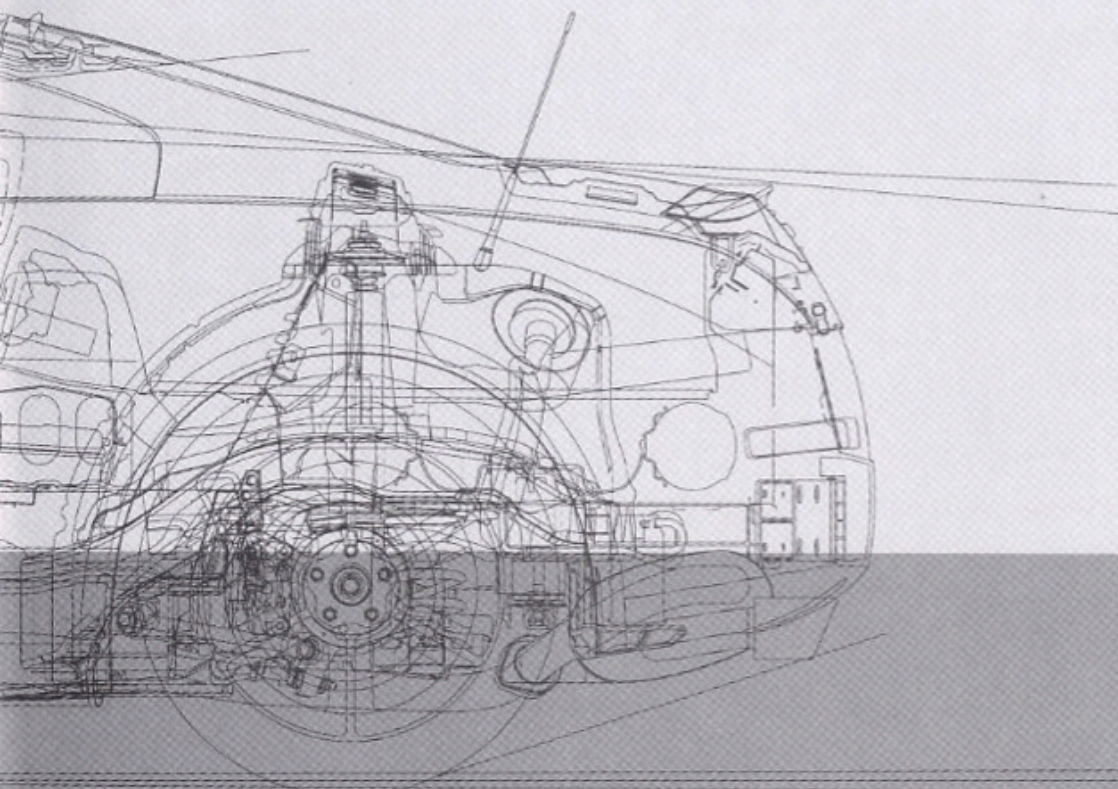
Scene 04

Intuitive Z You're free to indulge in the sheer pleasure of driving, knowing that the Z will keep track of your every move.

balance at all. 47 rear

0.30^{Cd} Leave it to Fair

Compact engine layout



04 良好な視界

運転席は、前後タイヤの中央付近に位置しているため、車両感覚がつかみやすく、日常の市街地での扱いやすさも向上しました。また、広いフロントウィンドウと見切りのよいフェンダー稜線により、取り回しのしやすい視界を実現するとともに、ドライバーの視線に合わせた高い位置に配した新開発のキセノンヘッドランプが、夜間でも良好な視界を確保します。

05 取り回しのしやすさ

大径幅広タイヤを装着し、1815mmの全幅をもつロングホイールベース車であるにもかかわらず、新開発のフロントマルチリンク式サスペンションの採用などにより、5.4mという取り回しの素な最小回転半径を実現しました。

06 シート

運転席には車両の動きを正確にドライバーに伝えるために、ダンピング性能をチューニングしたシートを採用しました。シートクッションはセンターマウンド構造により、大腿部のサポートをはかり、ペダルの操作性も高めています。また、シートバックは肩部までサポートする構造で、脇下部はシフトレバーを操作しやすい形状としています。さらに助手席は、ウレタン特性や形状により身体の広範囲を包むようにフィットさせることでサポート性を高め、長時間でも快適な着座を可能にしています。

07 高剛性新ボディ構造

車両後部にはガソリタンク上部の2重フロアとリヤストラットメンバーによるトリプルメンバー構造を採用。負荷のかかるバックドアの開口部をボックス構造とすることで強化をはかりました。またフロント部は、ボディスタビライザーと新開発高剛性ウレタン封入フロントストラットタワーバーなどで、ボディ剛性を高めています。



フロントストラットタワーバー断面

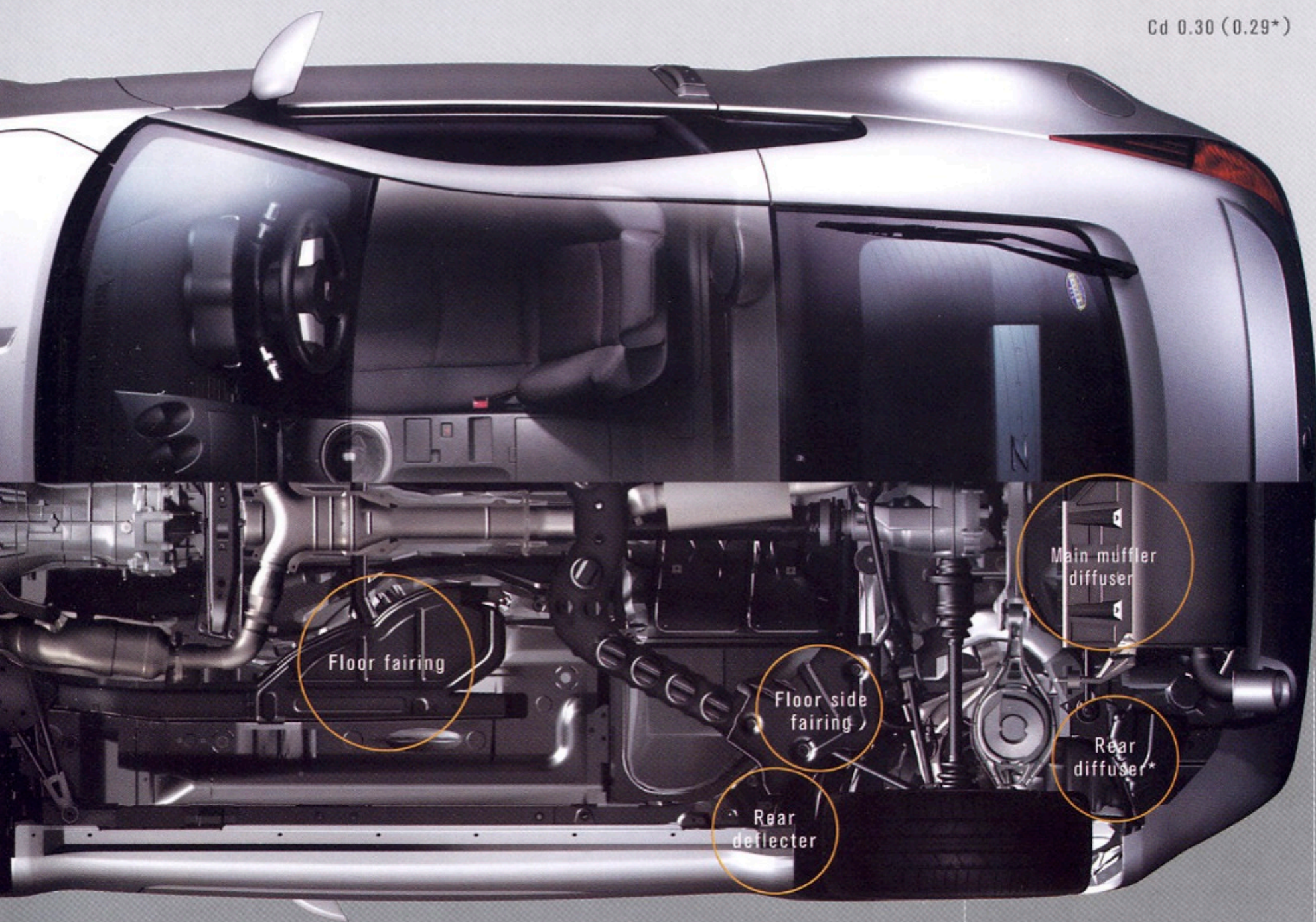
Front zero lift

Short overhang

Front tires: 225

lady Z to obsess over something you can't even see. 0 lift (Fr)

Cd 0.30 (0.29*)



Rear zero lift*

50R17 94V (225/45R18 91W)

Long wheelbase

Rear tires: 235/50R17 96V (245/45R18 96W)

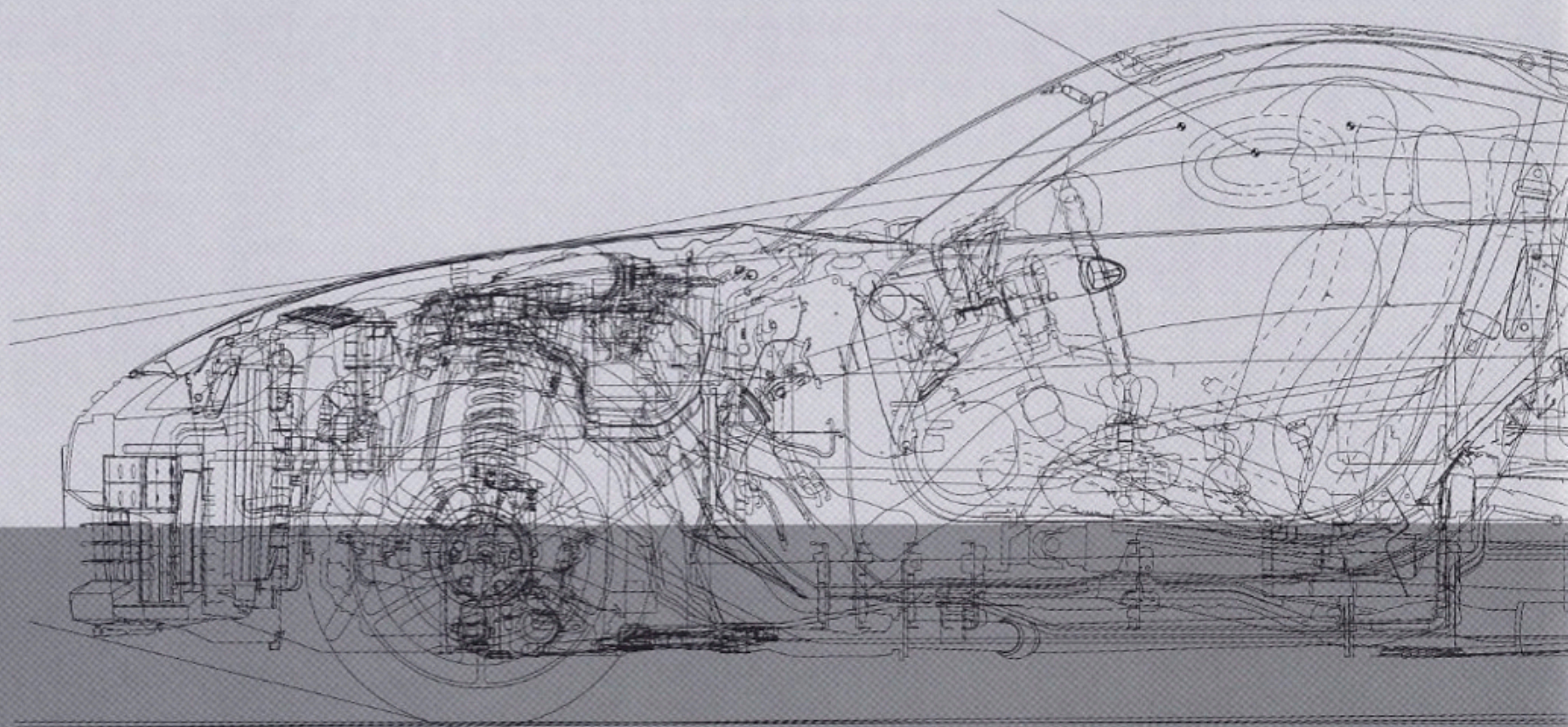
Short overhang

*フロント&リヤスポイラー装着車

スポーツカーは時にサラブレッドに例えられるが、まるで自分の意志が乗り移ったかのような、“人車一体”感が味わえるクルマに巡り合う幸福はめったにあるものではない。ニュー・フェアレディZは、ちょっとした街走りですえ、そんな幸せな気分を味わわせてくれる。これは新FRスポーツカーパッケージに高性能ユニットを採用した「フラットライド・スポーツ」によるもの。ステアリングを握っているとはっきり分かるが、視線の上下移動が少ないため瞬時に繊細にクルマをコントロールできる。だれもが高い次元で意のままのドライビングが楽しめるという謳い文句も納得だ。この新しい走りは、おそらくこれまでのスポーツカーの走りを一変させることだろう。



53^{front} The ideal handling balance is not a



01 高次元の走りの性能

新型フェアレディZは、極限まで走りを磨き上げました。軽いパワーウエイトレシオにより、どこからでも206kW(280PS)が感じられる加速力。広い接地面積のタイヤで高いトラクションを獲得し、強大な出力・トルクを最大限に引き出します。四輪への荷重変動を抑えることにより、ハンドリング性能を向上。また、乗員のセンター付近への配置や最適な前後重量配分により、車両挙動もつかみやすくなっています。さらに、強力なブレーキシステムと、適正な前後制動力配分によって、高い制動性能と安定した制動姿勢も実現しています。

02 エアロダイナミクス

車両上屋の空気流と、車両下面と路面との間の空気流をコントロール（テールゲートの形状、メインマフラーディフューザーの設定により空気流の剥離などによる乱流（渦）を抑制）することにより、空気抵抗とリフトを低減させ、優れた空力性能を実現。また、フロント&リヤスポイラー装着車は、スポイラー追加による上屋空気流速の向上だけでなく、アンダーフロアへのディフューザー等の追加で下回りの流速をバランスよく向上させ、合流点を最適にコントロールすることにより、さらなる空気抵抗の低減とフロント、リヤゼロリフトを実現しました。



フロントスポイラー



風洞実験

03 スポーツドライビングポジション

新型フェアレディZは、ドライビングシステムのトータルコーディネートにより、どなたにも楽しみ満足できる「スポーツドライビングポジション」を実現しました。最適な乗員姿勢を確保するとともに、228mmのロングシートスライドやサイサポート調整機能により、小柄な方から大柄な方までジャストフィットするドライビングポジションが得られます。また、目をつぶっていても分かるような最適なペダル配置とストロークの適正化や、ステアリングの操作性を向上。チルトメーターやドライバー側に向けた3連サブメーターなどで視線の移動を少なくしています。さらに、剛性感がありクイックシフトできる新開発の6速マニュアルトランスミッションと、完全ギヤ固定のショートストロークマニュアルモード付の5速オートマチックを搭載。走る楽しさを深めています。

新しい走りのためのスポーツ性能〈フラット ライド・スポーツ〉

従来のスポーツカーの概念を一新する 新しいスポーツカー

人とクルマの関係を主従に例えるなら、従来のほとんどのスポーツカーは、クルマが主で人が従でした。ドライバーがクルマのクセに合わせて操ることが、スポーツドライビングだと信じられてきたからです。

クルマに追従するように運転することは、20世紀のスポーツカーに許されても、21世紀のスポーツカーには受け入れられません。レースで優勝したドライバーが「まるでクルマに乗っていることを忘れてしまうほど、自分の気持ちで走れた」とコメントしているような走りこそ、スポーツドライビングの理想だと思います。

人が主でクルマが従、つまり常にドライバーがクルマを意のままに操れるスポーツカーを日産は目指しました。運転経験豊富な方から初心者までだれもがスポーツドライビングを楽しめること。新型フェアレディZは、そうした時代の求めに応じた、真のスポーツドライビングを実現するスポーツカーです。

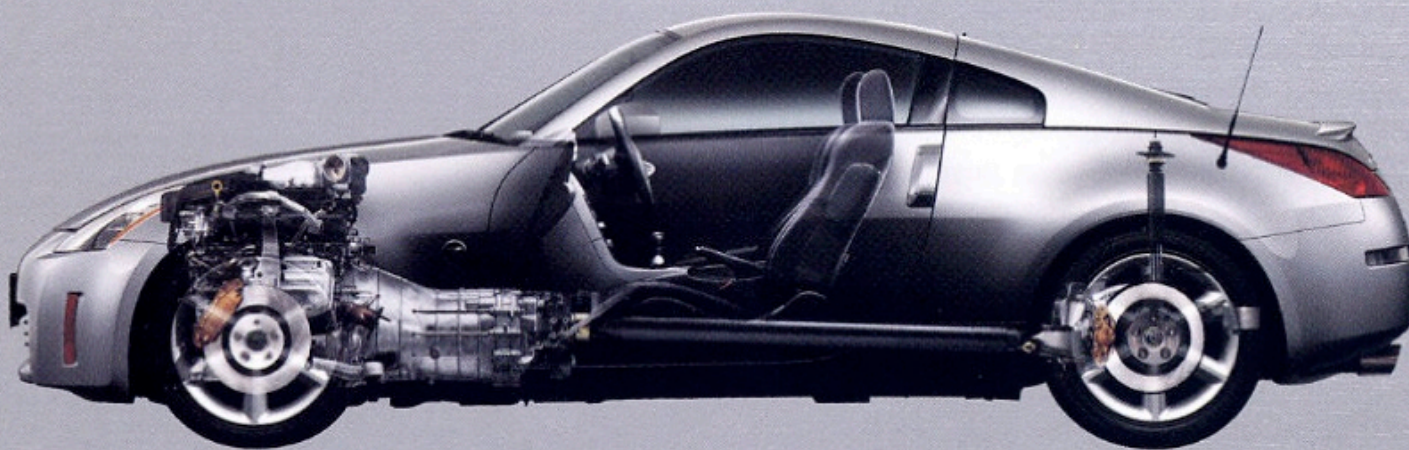
21世紀のスポーツカーの走りを実現した 新型フェアレディZ

世界中のだれもがスポーツドライビングを楽しめる新しいスポーツ性能の提供を目指して、新型フェアレディZは、「フラットライド・スポーツ」の考えの下に、高性能な21世紀の走りを求めました。

フラットライド:ドライバーの視線が動かないフラットなボディコントロールにより、繊細なドライビング操作ができる運転環境を実現すること。

スポーツ:あらゆるシーンで懐が深く、意のままに高い次元のドライビングが楽しめる運動性能を提供すること。

この2つを掌中にしたスポーツカーを完成させるために、**新FRスポーツカーパッケージ**を採用。21世紀のスポーツカーとして、まったく新しいスポーツドライビングを可能にしました。



スポーツカーとしての優れたパッケージ性能

新型フェアレディZ、21世紀のスポーツカーの理想像、「新FRスポーツカーパッケージ」としてスポーツカーのパッケージの理想を追求しました。

「FM（フロントミッドシップ）パッケージ」をベースに、乗員配置、前後重量バランス、空力特性など様々な条件でスポーツカーとしての基本パッケージ性能を高めました。その理想的なパッケージ性能で、高速走行でも、コーナリング中でも、加速&ブレーキング時でも、四輪の荷重変化を少なくすることにより、車両姿勢を安定させ、視線の上下動も少なくします。さらに、タイヤグリップ力の最大化を可能にしました。

ダイナミックな走りのための高性能スポーツユニットの適用

21世紀のスポーツカーの理想像である「新FRスポーツカーパッケージ」。その実現のために、新型フェアレディZは、優れたパッケージ性能に高性能化したスポーツユニットを適用しました。低回転から厚みのあるトルクにより、どこからでもパワフルな加速感、押し出し感が得られる新開発の大排気量V6エンジン。高い旋回G、ダイレクトに感じられるタイヤの接地感とナチュラルでインブル（機敏な）ステアリングフィール。高性能スポーツブレーキが発揮する、安心感のある異次元のブレーキ性能。さらに、高剛性新ボディ構造や、アルミを多用したマルチリンク式サスペンションの採用などで、常に走りのダイナミズムを高めていきます。

この走りを知ると スポーツカーがもっと好きになる。

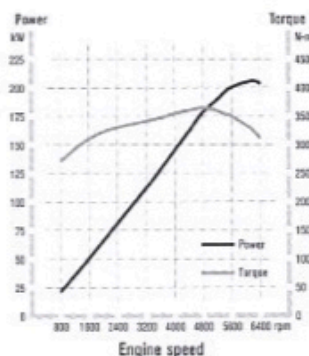


NEO VQ35DE
エンジン



デュアルテールパイプ

フロントミッドシップに配置されたNEO VQ35DEエンジンは、アルミ合金を多用して軽量・コンパクト化を図りながら、最高出力206kW(280PS)を叩き出す。軽くアクセルペダルを踏むだけで瞬時に加速してゆくナチュラルアスピレーションならではの自然で素直なレスポンス。ドライバーの意志がダイレクトにクルマに伝わってゆくようだ。少し深くアクセルペダルを踏み込むと、背中がシートに押し付けられるような加速感が味わえる。低回転域からトルクが太いため、加速はどの領域からでも力強い。このレスポンスの良さと出足の鋭さは、効果的な吸気を可能にする高応答・高変換角VTC(可変バルブタイミングコントロール)や排気効率のいいエキゾーストシステムを採用しているからだろう。エンジン本体の剛性の高さなどで、耳障りなノイズも抑えられている。一方、大口径デュアルテールパイプから響くエキゾーストノートは、明らかにニューZに乗る歓びのひとつになっている。街を抜けてゆく間だけでも、この走りのポテンシャルが並でないことが、ひしひしと伝わってきた。



VQ35DE (NEO)

Displacement: 3.498L

Max. Power: 206kW(280PS)/6200rpm

Max. Torque: 363N·m(37.0kgm)/4800rpm

Scene

90

Exhilarating Z You're about to experience the power to move
you from rest to total exhilaration in the time you need for one deep breath.





踏み込む瞬間に 言いようのない高ぶりを感じる。

A・B・Cペダルの配置はクルマを操る際、かなり重要な部分を占めていると思う。ニューZのペダルは扱いやすく、昔覚えたテクニックを何度か試してみたが楽々コントロールできた。クラッチストローク量もきちんと計算され、実に切れのいい仕上がりとなっている。ペダルもフットレストも同じデザインのアルミ製で、足元にもスポーツカーらしさが漂う。ブレーキは当然4輪ベンチレーテッドディスク式だが、前後重量配分に合わせてリヤの制動力

配分が通常より若干高めに設定されている。ブ

レーキは2タイプあり、brembo社製ブレーキは、フロントローター径 ϕ 324×厚さ30t、リヤローター径 ϕ 322×厚さ22t。ブレーキパッドの面圧を均一化する異径デュアルピストンを前輪に備えており、踏み始めから鋭いブレーキ性能を発揮し

てくれて頼もしい。もう1つには、フロントに欧州メーカー製のハイムーブレーキパッドを使用したブレーキが用意された。径が大きく接地面積が充分あるタイヤは前後異サイズで、より太いリヤタイヤはエンジンパワーをしっかりと路面に伝えてくれる。なお、タイヤは銘柄指定となっており、ブリヂストン製ポテンザRE040が採用されている。アルミロードホイールは17インチ、18インチともスポーツカーらしいデザインでなかなかいい。さて、やっとハイウェイに入った。ニューZの本領が発揮できると思うと、気持ちが高揚してくる。



brembo社製
ブレーキ(フロント)



前:17×7.5Jアルミ
ロードホイール
(オフセット30)
後:17×8Jアルミ
ロードホイール
(オフセット33)



前:18×8Jアルミ
ロードホイール
(オフセット30)
後:18×8Jアルミ
ロードホイール
(オフセット30)

(ディーラーオプション)



レイズ製18インチ鍛造
アルミロードホイール
(前:8J オフセット30、
後:8.5J オフセット33)



アルミ製ペダル、フットレスト

S C E N E

07

Responsive Z A touch of the pedal accelerates you directly into the future of sports car performance and handling.



S C E N E

08

Well-connected Z You'll establish such a close and lively relationship with the road that it will become part of you.



地を這うように走る。
それがニューZに乗る醍醐味。



リヤスポイラー



リヤストラットメンバー

スポーツカーの評価は、サーキットレベルのマージナリティだけではない。普通のドライバーが直面する天候や路面の変化に、いかに高い安定性を発揮できるかも、その評価に関わる。新しいZの足回りはその点、相当に鍛えられているとワインディングロードを登りながら感じた。フロントもリヤもパーツの多くをアルミや鍛造アルミ製として軽量化したマルチリンク式サスペンションを搭載しており、ハンドリングは申し分ない。車線変更もびたっと収まり、タイトコーナーも無類の安定感で走り抜けられる。もちろんこの優れた車両安定性は、最適な前後重量配分、ゼロリフトを達成する空力性能、さらには大径タイヤによる高いグリップ力にも負うところ大だが、フロントストラットタワーバーとリヤストラットメンバーも寄与している。特にリヤは、Zエンブレム付のカバーが施されニューZの象徴にもなっている。乗り心地も悪くないのは、リップルコントロールショックアブソーバーTMによって、微振動の高周波を抑え、路面の細かい凹凸を吸収しているからだろう。アルミ製のエンジンフードをはじめ、カーボンFRP（繊維強化樹脂）プロペラシャフトなど、あらゆる面で軽量化を求めた結果、パワーウェイトレシオは5.1kg/PSと圧倒的な数値を記録。地を這うような官能を刺激する走りは、このクルマでしか味わえないものだ。



アルミ製エンジンフード



フロントマルチリンク式サスペンション

※装備・仕様の詳細は「Z is lust」のP28-29の主要装備一覧をご覧ください。

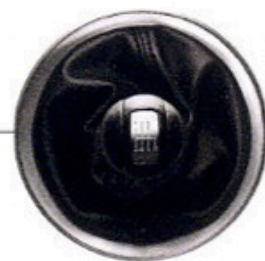


ポテンシャルが高いほど スポーツカーを操る面白さはつのる。

インストアッパーボックス上部には視線移動を少なくするようドライバー側に向けられた3連サブメーターが用意されている。電圧計・油圧計に加え、ドライブコンピューターが備わっているが、このコンピューターはなかなか便利で、外気温や航続可能距離など必要な情報が簡単に手に入る。峠道に差し掛かった私のニューZはますます快調だ。280PSのパワーを効果的に引き出すために与えられたトランスミッションは、新開発の6速マニュアル。1速から5速までクロスギヤレシオを採用しているので常に最大トルク付近を有効に使えるし、高速巡航を重視したギヤ設定の6速でも、充分加速性はある。操作力に適度な重さをもたせながら、ショートストロークに設計されているため扱いやすく、ワインディングロードでの少々荒っぽいシフトワークにも的確に追従してくる。オートマチックは、マニュアルモード付の5速が用意されている。こちらも試してみたが、各レンジのレスポンスがよく、スポーツカーらしい切れ味のいい走りが楽しめる。マニュアルモードは完全ギヤ固定でストロークも短いため、MT並のスポーツドライビングが可能で、操る面白さも併せ持つ。懐の深いポテンシャルは、汲めども尽きないようで、だれもが自分のレベルで走りが楽しめるスポーツカーだと、走りながら思う。



3連サブメーター



6速マニュアル



マニュアルモード付
フルレンジ電子制御
5速オートマチック (5M-ATx)

Scene 09

Quick shifting Z Your desire for total integration with the Z is just a short smooth shift away from realization.



S C E N E

10

Contemporary Z Z effortlessly fulfills your dreams of having both contemporary amenities and cutting edge sports car performance.



だれにとっても快いこと、
それが新しいスポーツカーの条件だ。

スポーツカーはストイックに乗りこなすものだ
という考え方は、ニュー・フェアレディZにはな
い。性能はあくまでも高く、しかも実用性にも
優れていることが21世紀のスポーツカーの
条件だからだ。ニューZはゆったりとした乗員
スペースを確保しながら、ポケットやボックス
を犠牲にすることなく、普段よく使用される個
所に必要十分なものを備えている。そのひと
つが助手席の後ろ側に装備されたリヤフロア
ボックス。アタッシュケースが楽に収納できる
大きさで、カーペット下には車検証などが入る
スペースも設けられている。ドライバーが座
ったままレバー操作でアシストシートが倒せ
るので、リヤフロアボックスから荷物の取り出
しが楽にでき、これは使いやすく便利だと思
った。リヤストラットメンバーで仕切られたラ
ゲージルームは意外に広く、妻と私の少し大き
めの旅行バッグも2個楽に積むことができる。
わが家を後にしてそろそろ4時間、ここで少し
休憩を取ろうと思う。それにしても新しいZの
ガソリンタンクの大きさにはびっくりさせられ
る。80リッターもの容量があるため、たびた
びガソリンスタンドに寄る必要がなく、長距離
を走る者にとっては有り難い。



インストアッパー
ボックス



センターコンソール
ボックス



シートサイドポケット



オーバーヘッドコンソール



インストポケット



助手席シートバック
可倒レバー



カップホルダー

※装備・仕様の詳細は「Z is lust」のP28-29の主要装備一覧をご覧ください。

ラゲージルーム(ラゲージフック付)

リヤバセルボックス

リヤフロアボックス(ロック&ランプ付) 電源ソケット

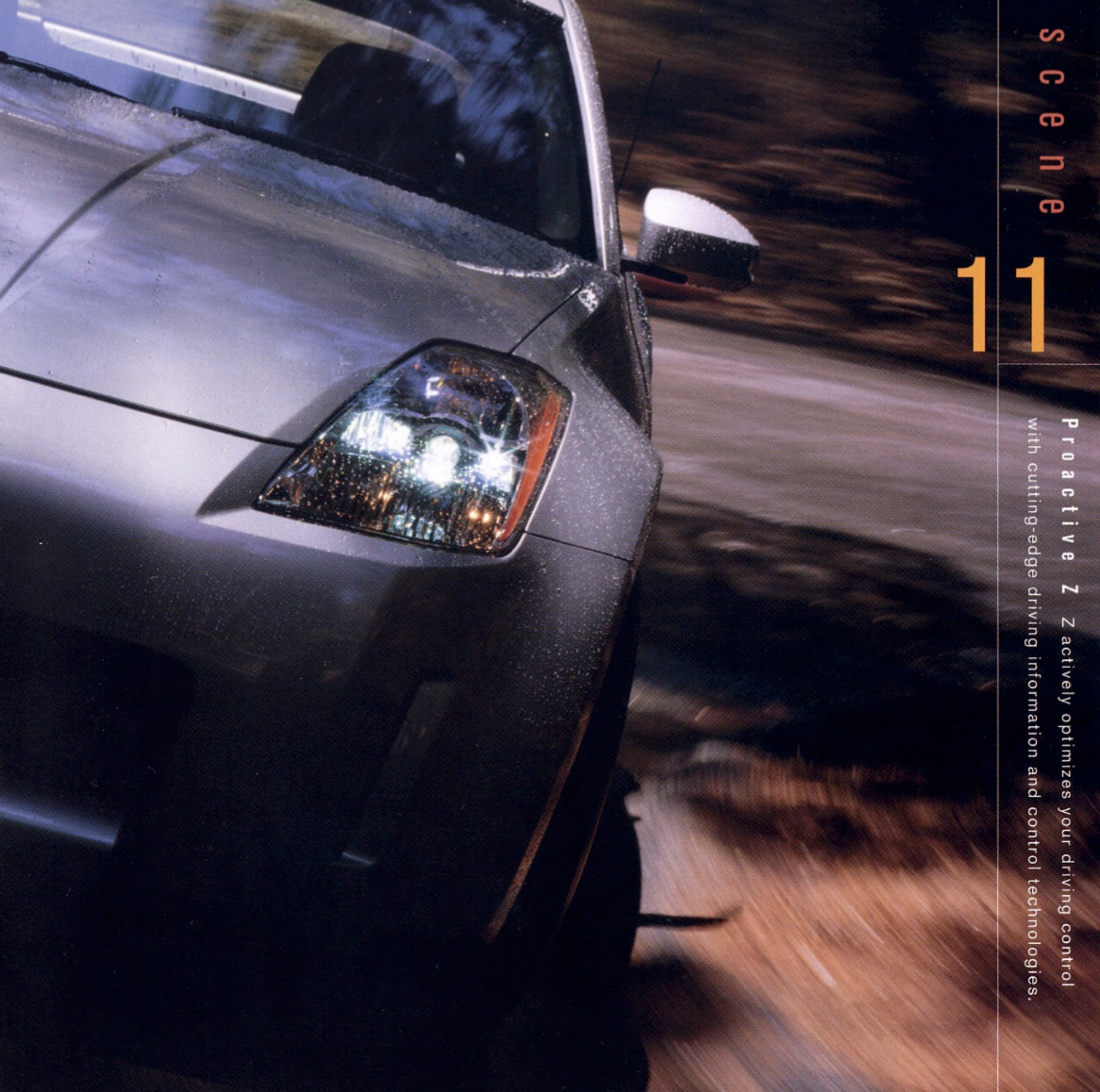


S C E N E

1

1

P r o a c t i v e Z Z actively optimizes your driving control
with cutting-edge driving information and control technologies.



乗員を守ることを、
大切にするクルマでなければならない。

どんなに運転が上手であっても、不測の事態は起こりえる。万一事故に遭ってしまっても、乗員を守る確かな手段が講じられていれば、その安心感は格段に違うはずだ。最新の安全性を配慮してクルマづくりを進めたニューZの姿勢はぜひ分かっていただと思う。



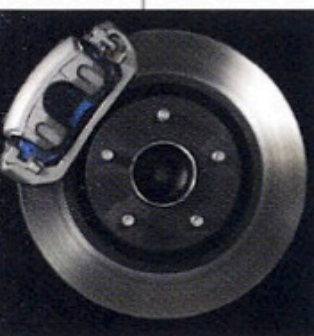
運転席・助手席SRS
エアバッグシステム

運転席・助手席SRS
サイドエアバッグ
システム

SRSカーテン
エアバッグシステム



テンションリデューサー
ELR付3点式シート
ベルト



4輪ベンチレーテッド
ディスクブレーキ

〈インパクトセーフティ〉



車体の潰れモードが異なる前面フルラップ衝突とオフセット衝突。この相反する課題を、衝突時にエンジンがフロア下へ移動する構造や、カーボンFRPプロペラシャフトの座屈構造などを採用することにより解決。さらに側面・後面衝突への対策も十分に施した“ゾーンボディ”により、世界トップレベルの衝突安全性を目指しました。さらに、デュアルエアバッグや、側面衝突の際に乗員の頭部および胸部をガードするカーテンエアバッグとサイドエアバッグも用意。万一の際に乗員を守る、きわめて高い水準の安全性能を確保しています。

クルマの盗難が増加している現在、ニューZもエンジンイモビライザーを採用しました。キー固有のIDコードを照合し、自車キー以外ではエンジンが掛からない仕組みで、高い防盜性を発揮します。

〔ディーラーオプション〕



チャイルドセーフティシート
(写真はE(エコレンジャー)タイプ)



ジュニアセーフティシート

●SRSエアバッグは万一の前面衝突の際に、シートベルトを補助して乗員への衝撃を緩和する装置ですので、必ずシートベルトをご着用ください。さらにSRSデュアルエアバッグ、サイドエアバッグおよびカーテンエアバッグは衝突の条件によっては作動しない場合があります。「デュアルエアバッグ付車では助手席にチャイルドシートを後ろ向きに取り付けられない」事や、その他の重要な警告と注意事項を取扱説明書に記載しておりますので、必ずお読みください。SRS-Supplemental Restraint System (補助拘束装置)
●エアバッグは撮影のため、膨らませた状態を再現したものです。なお、サイドエアバッグおよびカーテンエアバッグは実際の衝突時には衝突側のみ膨らみます。

※装備・仕様の詳細は「Z is just」のP28-29の主要装備一覧をご覧ください。





安全性能の高さが、
そのクルマの真のポテンシャルになる。

スポーツカーは、スポーツカーであるがゆえに、安全にはことさら敏感でなければならない。だから、求めうる世界最高水準の安全性能を追求したその中身について知っておくことは重要だ。

〈インフォメーションセーフティ〉

プロジェクターレンズとリフレクターを組合せ、より広い照射範囲を実現したキセノンヘッドランプや、後続車への確にブレーキングの意志を伝達するLED式ハイマウントストップランプを採用。ドライバーが車外の情報をすばやく入手し危険を予知できることを目指しています。

〈コントロールセーフティ〉

優れた運動性能を自在に制御して危険を事前に回避するために、高性能ブレーキシシステムをはじめ、タイヤロックを起こりにくくするEBD付高応答ABS、いざという時にフルブレーキ状態を無理なく実現させるブレーキアシストを搭載。各種センサーにより車両状態を検知し各輪のブレーキ力とエンジン出力を最適に制御してレーンチェンジなどでの収まりを良くするVDCや、駆動輪のスリップ量に応じてエンジン出力を細かく制御し滑りやすい路面での発進・加速時の安定性を高めるTCSを装備し、車両のコントロール性を向上させました。

EBD:電子制御制動力配分システム
ABS:アンチロックブレーキシシステム
VDC:ビークルダイナミクスコントロール
TCS:電子制御トラクションコントロールシステム



キセノンヘッドランプ



LED式ハイマウント
ストップランプ



超撥水ウインドウ
システム
【ディーラーオプション】

Real World Safety

日産は、現実の世の中(リアルワールド)で起きている事故の分析を基に、「Real World Safetyの追求」に一層の力を注ぎ、より安全なクルマづくりを進めています。

未来のために、続けます



NISSAN
GREEN PROGRAM

良好な環境を維持するには、個人個人の努力が大切だが、企業としてもその努力を惜しんではならないと思う。環境保全の取り組みを企業の総力をあげて進めている日産はその好例と言える。

〈ニッサン・グリーンプログラム〉

それは、私たちの環境に対する理念である「人とクルマと自然の共生」のために行う活動の総称です。クルマづくりにたずさわる生産・開発部門はもちろん、営業・サービス部門をはじめとする企業全体として、この活動を推進します。

ニュー・フェアレディZでは、リサイクル可能率（重量ベース：日産独自の算出基準による）を90%以上にしたり、リサイクルしやすい熱可塑性樹脂の再生材を活用しています。さらに、鉛削減目標（1996年時点の1/3以下：自工会2005年目標）を前倒しで達成するなど、環境への負担をできる限り少なくする努力を続けています。

フェアレディZの環境保全への取り組みを詳しく紹介した「日産フェアレディZ環境ノート」をご用意しています。ご希望の方はお客様相談室までご請求ください。また、インターネットでもご覧いただけます。（http://www.nissan.co.jp/INFO/E_NOTE/）

緑に囲まれた別荘に到着した。来るたびに思うのだが、この自然はぜひ守っていきたい。そのために、クルマができることは、たくさんあるはずだ。その点、新しいZには期待できている。

〈「超・低排出ガス車」に認定〉

ニュー・フェアレディZは、よりクリーンなエンジンを搭載することで、地球環境を守る第一歩としています。圧縮比を高める最適設計の燃焼室形状により燃焼効率を向上したNEO VQ35DEエンジン。高効率の三元触媒やHCTラップ触媒などとともに、排気性能をアップ。これらによりニューZは、平成12年排出ガス規制値に対して、NOx（窒素酸化物）、HC（炭化水素）の排出量を75%低減し、国土交通省より「超・低排出ガス車」の認定を受けました。



〈室内快適性能「インナーグリーン」〉

ステアリングなどに抗菌処理を施したり、UVカット断熱グリーンガラスを採用するなど、室内環境の向上もはかっています。

駐車時にはエンジンを止めて、資源のムダ使いをなくしましょう。